

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者各位

記者発表資料  
平成20年6月30日  
世界乳幼児精神保健学会世界大会  
日本組織委員会事務局長  
橋本 洋子 電話 03-5684-0339  
こども青少年局親子保健担当課長  
大場 エミ 電話 671-4286  
こども青少年局地域子育て支援課長  
荒木田 百合 電話 671-2701

**アジアで初めて開催！！**

## **第11回世界乳幼児精神保健学会 世界大会が横浜で開催されます**

**1 会 期** 2008年8月1日(金)から5日(火)まで

**2 場 所** パシフィコ横浜

学会全般の問い合わせ **Tel:03-5684-0339 Fax:03-4477-5431**

**e-mail: [toiawase@waimh-japan.org](mailto:toiawase@waimh-japan.org)**

**ホーム・ページ URL <http://www.waimh-japan.org/>**

- 世界43か国そして日本全国から、約2,000人のこどもと家族に係わるあらゆる専門家が横浜に集います。
- 専門家だけでなく子育て中の親や子育て支援をしている方などにも開かれた学会です
- 最新のニューロンサイエンス、児童精神医学、心理学と現場の知がつながり、新たな展開を生むエキサイティングな場になるでしょう。

横濱開港150周年  
イベント

### **8月2日 市民講座を同時開催します**

**赤ちゃんと家族にやさしい社会づくり ～フィンランドからの提案～**

フィンランドで、すべてのお母さんが社会のなかで見守られながら、ゆったりと子育てができるシステムづくりをしてきた取り組みをもとにした、親子にやさしい社会づくりについての講演です。

日時：平成20年8月2日(土) 13:00～14:50(12:00受付開始)

場所：パシフィコ横浜メインホール

講師：トゥーラ タミネン先生(フィンランド・タンペレ大学教授、児童精神科医、世界乳幼児精神保健学会会長)

定員：当日先着500人(事前申し込み不要、詳細はチラシ参照)

### **8月3日 学会に参加の世界の専門家と横浜の親子が交流します**

**世界に学ぼう！親と子のメンタルケアとサポート**

日時：平成20年8月3日(日) 13:00～16:10(12:00開場)

場所：横浜市開港記念会館 内容：分科会(定員各50名 事前予約)

①産後うつへの取り組み ③育てにくい子・育てにくい時期

②母子(親子)支援のための地域資源のあり方 ④夜泣き、かんしゃく、後追いどうしたらいい?

申込：FAXかEメールにより申し込み(詳細はチラシ参照)

平成20年7月25日(金)申込期限



# 第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会

The 11<sup>th</sup> World Congress of World Association for Infant Mental Health

## 乳幼児精神保健とは

乳幼児と家族のこころの健康を、スタートのところから守り育む  
臨床と研究の学際的な分野であり、  
周産期や乳幼児期の臨床、子育て支援、療育に携わる  
すべての職種の人々にとって必須のアプローチです。

# 乳幼児精神保健の国際学会が、アジアで初めて横浜で開催されます！

赤ちゃんのこころを知ることは、児童や思春期はもちろん  
すべての年齢層を対象にした臨床につながるものであることが認められています。

世界43カ国から多数の研究者・臨床家・行政担当者らが参加するほか  
D.N.スターン、R.N.エムティ、B.クラメール、T.B.フラセルトン、  
C.トレヴァーサン、A.サメロフ、P.フォナギー、J. D. オソフスキーの  
講演をはじめ、魅力的なプログラムが満載です。

## 一裏面のプログラム・ハイライトをご参照ください

同時通訳つき 日本語抄録集あり 託児あり要予約 (fakuji@waimh-japan.org)

### 第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会のお知らせ

会期	2008年8月1日(金)から5日(火)まで
場所	パシフィコ横浜
問い合わせ	Tel: 03-5684-0339 Fax: 03-4477-5431 e-mail: <a href="mailto:toiawase@waimh-japan.org">toiawase@waimh-japan.org</a>
ホームページ	URL <a href="http://www.waimh-japan.org/">http://www.waimh-japan.org/</a>

「乳幼児精神保健」で検索できます

第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会 日本組織委員会事務局  
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学医学部小児科学教室内  
Tel: 03-5684-0339 Fax: 03-4477-5431 e-mail: [toiawase@waimh-japan.org](mailto:toiawase@waimh-japan.org)  
URL <http://www.waimh-japan.org/>

# 第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会プログラム・ハイライト

\*は同時通訳または逐次通訳付

8月1日(金) プレコンGRES/ 開会式 プレコンGRES・シンポジウム		
	乳幼児精神保健の展望 *	D.N.スターン, A.ザメロフ, D.オルズ
	乳幼児虐待への早期介入 *	B.クラメル, C.トレバーサン
特別マスター・レクチャー	21世紀における、家族のストレスと支援 *	T. B.ブラゼルトン
プレナリー	1 赤ちゃんに乾杯! *	渡辺久子
8月2日(土) 第1日 テーマ<レジリエンス: 内的強さと調節過程 >		
プレナリー	2 乳幼児の自己調節能力: 乳幼児精神保健における発達障害の隠れた資源 *	M.バブシェク
	3 乳幼児期と境界性人格障害 *	P.フォナギー
公開講演会	子どもと家族に優しい社会づくり: フィンランドからの展望 *	T. タミネン
プレナリー・インターフェーズ1	泣きやまない赤ちゃんの原因・治療における自己調節力を多面的に検討する *	M.ケレン, S.ラスコーニセルバ, M.バブシェク
シンポジウム	1 現代の家族に生じる葛藤: 社会的, 臨床的, 研究的観点からの家族システム *	
	2 薬物乱用と精神保健的問題をもつ母親と乳児間の早期相互作用 *	
	3 母親のうつ病と不安: 胎児・乳児行動と発達への影響 *	
	4 乳児期から青年期へ: うつ病の先行条件, 診断, リスク要因とアウトカムに関する縦断研究	
	5 保育における乳幼児からの学び: 日々の実践から保育者と子ども同士はどのようにお互いを知り合うか *	
	6 ストレス下の育児: 子と親のトラウマについての最近の研究 *	
	他に、ワークショップ・ポスターセッション・ビデオセッション多数	
8月3日(日) 第2日 テーマ<文化というコンテキストにおける乳児期 >		
プレナリー	4 文化一親一乳幼児: 交流的, 行動的, 情緒的關係 *	M.ボーンシュタイン
プレナリー・インターフェーズ2	南アフリカにおけるHIV母子感染: ステイグマと悲しみと文化 *	N.ポリス, C.ポール, A.バーグ
インターネット・レクチャー	産産期うつ病: 予防と治療と乳幼児の幸せのための意義 *	K.バーナード
シンポジウム	7 甘えの再評価: 早期の発達とその後的人生にわたる普遍的そして文化的意義 *	
	8 世界中で手話する赤ちゃんたち: 赤ちゃんのサイン言語を用いた4カ国での親と乳児のコミュニケーション介入	
	9 多様な文化・制度の文脈における力動心理的親一乳児心理療法 *	
	10 「アラム・苦悩赤ちゃん尺度」を用いた乳児観察と、各国でのその使用 *	
	11 母親のうつ病と文化: 3カ国からの報告 *	
	他に、ワークショップ・ポスターセッション・ポスターワークショップ・臨床ティーチン多数	
8月4日(月) 第3日 テーマ<標準的表象モデル >		
プレナリー	5 外から内へ、そして外へ: 内的表象と対人的相互作用への考察 *	D.ビュルギン
プレナリー	6 乳幼児精神保健に潜在する力 *	R.N.エムディ
プレナリー・インターフェーズ3	母子の内的世界と観察しうる相互作用とのインターフェーズ: 自閉性スペクトラム障害の乳幼児ケースより *	D.オッペンハイム, N.コーレンカリー, A. ゲデニー, N.イルミヤ
シンポジウム	12 予防的介入—幼児の攻撃性は大きな問題 *	
	13 自閉症における視線行動: 実験的アプローチと介入の橋渡し *	
	14 臨床的評価の一部としてのMSSB(マッカーサー物語幹バッテリー)の物語幹ナラティブ *	
	15 乳児期の逆境と就学前期における子どもの愛着と分離の表象	
	16 育児についての新しい視点: 精神分析学, 精神病理学, 神経行動学の進歩 *	
	他に、ワークショップ・ビデオセッション・臨床ティーチン・ポスターワークショップ多数	
8月5日(火) 第4日 テーマ<強さに根ざした予防的介入 >		
プレナリー	7 赤ちゃんのところに私たちの心を開く *	C.D.バロトン
プレナリー	8 世界の乳幼児精神保健 *	T.タミネン
パネルシンポジウム	アジアの乳幼児精神保健 *	
シンポジウム	17 介入の一形態としてのNBAS(新生児行動評価尺度)と、異なる文化背景の中でのその適用 *	
	18 病院で育つこと: 慢性疾患と障害をもつ乳児の体験とそれを支える親とシステム *	
	19 早期産児の退院後の神経行動学的介入プログラムの無作為統制試行: プログラムの内容と6か月時の結果 *	
	20 早期の家庭と保育室でのケアにおける「器と中身」の関係 *	
	他に、ワークショップ・臨床ティーチン多数	

プレコンGRESにはオプション料金が必要ですが、それ以外のここに掲載されているすべてのプログラムは、参加登録料のみで参加できます

◆ フル参加がお勧めですが、時間が取れない場合は、一日参加登録をご利用ください。

事前に参加日を指定する必要はありません。

◆ 学生(院生でも、ポスト・ドクターでも、学生証があれば可)は、格安です。

## 横濱開港150周年イベント事業

—第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会市民講座—

# 赤ちゃんとお家族にやさしい社会づくり フィンランドからの提案

第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会がアジアで初めて、横浜で開催されます。テーマは「赤ちゃんに乾杯！」赤ちゃんとお母さんの幸せなふれあいを大切に守りたいとの願いを込めて、世界乳幼児精神保健学会、神奈川県小児保健協会、横浜市こども青少年局の共催で公開講演会を行います。皆様の来場をお待ちしています。

**期日：8月2日（土）**

第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会第2日

**時間：13:00-14:50（受付12:00～）**

**会場：パシフィコ横浜 メインホール**

（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

**講師：トゥーラ タミネン先生（世界乳幼児精神保健学会・会長）**

**通訳：渡辺 久子先生**

（第11回世界乳幼児精神保健学会世界大会日本組織委員会・会長）

**対象者：子育て支援に関心のある方 当日先着500人**

託児あり（2歳～未就学児、無料・先着10人）  
（7/11～18に、下記問い合わせ先まで電話で申込み）



**受講無料**

**主催：世界乳幼児精神保健学会**

**共催：横浜市こども青少年局・神奈川県小児保健協会**

トゥーラ タミネン先生

フィンランド・タンペレ大学教授、児童精神科医。

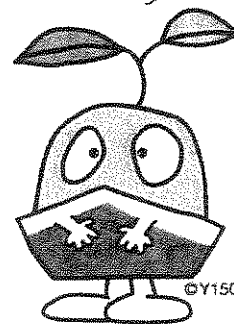
フィンランドで、すべてのお母さんが社会のなかで見守られながら、ゆったりと子育てができるシステムづくりに主導的に取り組み、実現させました。二人のお孫さんの成長を楽しみにされる、とてもあたたかで魅力的なお人柄です。

問い合わせ先

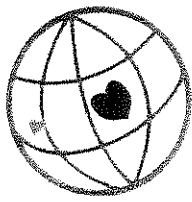
横浜市こども青少年局こども家庭課

電話 045-671-2452

横濱開港150周年

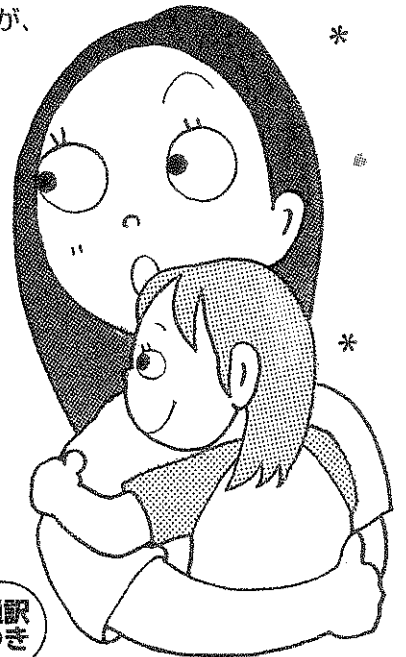
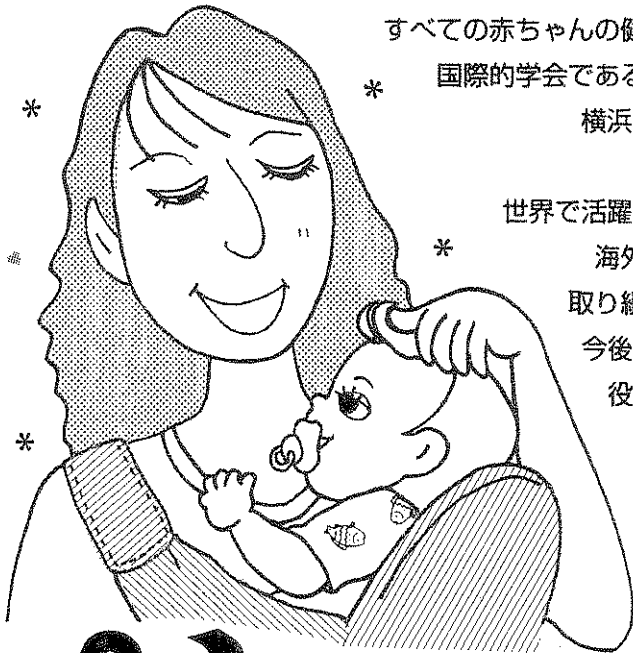


**たねまる**



# 世界に学ぼう! 親と子のメンタルケアとサポート

～世界乳幼児精神保健学会 地域交流会～



すべての赤ちゃんの健やかな心の発達促進を目的とした  
国際的学会である世界乳幼児精神保健学会が、  
横浜で開催されます。

この機会に  
世界で活躍する専門家の先生から、  
海外の子育ての事情や  
取り組みを語ってもらい、  
今後の横浜市の子育てに  
役立つ地域交流会を  
開催します。

日時: **8月3日(日)** 13:00～16:10 (12:00開場)

会場: **横浜市開港記念会館** (横浜市中区本町1-6) MAP裏面  
保育: 申込み 2歳から未就学児 (先着20名。7/10 10時～受付)  
保育料 無料

お申込み方法: 参加及び保育とも、FAXまたはEメールのいずれかで  
申込先にお申し込みください。(裏面に申込書あり)

無料 通訳つき

申込締切  
7月25日

申込  
問合せ先

横浜市子ども青少年局地域子育て支援課  
☎ 671-4157 FAX 663-1925  
E-mail: kd-koshien@city.yokohama.jp

## PROGRAM

第1部 分科会 13:00～15:00

第2部 15:10～15:40

「ほっとひと息コンサート」  
ピアノ&ヴォーカル 木村真紀  
コーラス ヴォーカル・いつぼママ

第3部 全体会 15:40～16:10

### 第1部 分科会 (各分科会定員50名)

#### ① 産後うつへの取り組み

産後うつに対する世界の先進事例を学ぼう!

講師: Anne Sved-Williams先生  
アン スベット ウィリアムス (オーストラリア)  
・アデレード大学 (オーストラリア) 講師  
・婦人小児病院の産産期・乳幼児精神保健部長

#### ② 育てにくい子・育てにくい時期 ～自我の発達プロセスを考える～

駄々こねの時期にとまどう親へのサポート

講師: Palvi Kaukonen先生  
バルビ カウコネン (フィンランド)  
タンペレ大学病院児童精神科医

#### ③ 母子(親子)支援のための 地域資源のあり方

母子と地域社会の間で施設がすべきこと

講師: Deborah Weatherston先生  
デボラ ウェザーストン (アメリカ合衆国)  
ウェイン州立大学デトロイト校のメルバーマー  
研究所におけるIMH(乳幼児精神保健)プログラムの  
責任者。20年以上にわたり、IMHスペシャリスト  
であるとともに、指導者、コンサルタントである。

#### ④ 夜泣き、かんしゃく、後追い どうしたらいい?

夜泣きが激しい子どもへの接し方

講師: Michele Meehan先生  
ミシェル ミーハン (オーストラリア)  
メルボルン国立小児病院臨床看護師  
夜泣き、母と子のスペシャリストから直接お話を  
伺いましょう。

主催: 世界乳幼児精神保健学会・よこはま一人子育てフォーラム  
協賛: ㈱ベネッセコーポレーション

この地域交流会は、横浜開港150周年  
イベントとして行います。



参加申込書 &  保育申込書

保育ご希望の方は  
チェックを  
いれてください。

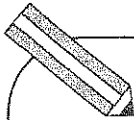
横浜市こども青少年局地域子育て支援課 行

FAX **045-663-1925** E-mail [kd-koshien@city.yokohama.jp](mailto:kd-koshien@city.yokohama.jp)

## 世界に学ぼう! 親と子のメンタルケアとサポート

※お申し込みいただいた場合は、受付確認の通知をいたします。

※定員を超えた申し込みがあった場合は、参加者数を調整させていただきますので、予めご了承ください。



申し込みます。

①参加者氏名 (ふりがな)

②所属 (団体・法人名等)

③所属の種類 (1つだけ○をお付けください。)

- ( ) 保健師・助産師・看護師
- ( ) 地域子育て支援拠点・つどいの広場関係者
- ( ) 主任児童委員・子育て支援者
- ( ) 学生 (学校名: )
- ( ) その他 ( )

④連絡先 (受付票送付先)

○をお付けください。→ ( ) 自宅  
( ) 所属先住所

〒

☎ FAX

⑤分科会の希望 (第1希望と第2希望に○をお付けください)  
→分科会の確定など、受付完了通知は後ほど返信いたします。

第1希望 第2希望

①		産後うつへの取り組み
②		育てにくい子・育てにくい時期
③		母子(親子)支援のための地域資源のあり方
④		夜泣き、かんしゃく、後追い どうしたらいい?



保育を申し込みます。

受付

7/10 (木)  
10時~

2歳~未就学児

事前申込み

保育料 無料

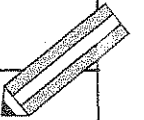
保育時間 (○をお付けください。)

13:00~16:10

第1部分科会のみ (13:00~15:00)

おやつはご用意いたしますが  
お飲物はご持参ください。

保護者の携帯電話



①お子さんのお名前 (ふりがな)

年齢 ( 才 力月)

アレルギー (有・無) 有りの場合の注意点

○をお付けください。

オムツ (している・していない)

トイレ (ひとりではできない・ひとりでできる・ひとりでできるが見守り必要)



②お子さんのお名前 (ふりがな)

年齢 ( 才 力月)

アレルギー (有・無) 有りの場合の注意点

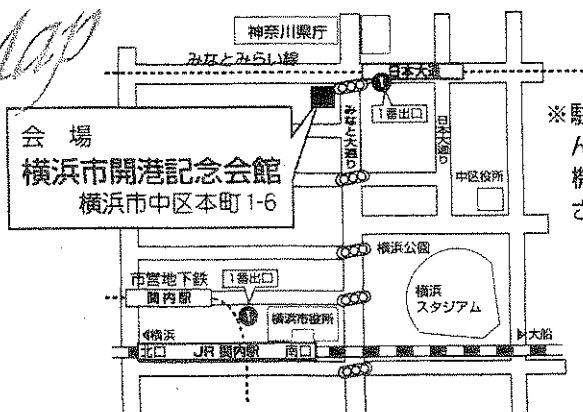
○をお付けください。

オムツ (している・していない)

トイレ (ひとりではできない・ひとりでできる・ひとりでできるが見守り必要)



Map



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

JR 京浜東北線・根岸線 関内駅 南口から徒歩10分  
市営地下鉄線 関内駅 出口1から徒歩10分  
みなとみらい線 (東急東横線乗り入れ) 日本大通り駅 出口1から徒歩1分